

- ✓ フリーRレール Sエンド支柱発売中!
- ✓ サステナビリティへの取り組み
- ✓ 専門家コラム 感想募集中!
- ✓ 作業療法士からみた住宅改修
- ✓ 建築から見るデザイン紀行



BAUHAUS 屋外用手すりシリーズ

FreeRrail 好評発売中!

Sエンド支柱

NEW

こんな場面に使えます!



支柱用側面ブラケット(N)を併用し、通行幅を確保しつつ手すりを体に近い位置へ



グレーチングや側溝蓋などで支柱が立てられない場合でも、手すりは段差の上くらいまで

手すりが欲しいところまで寄せられる支柱。



SUSTAINABILITY

マツ六株式会社は、「人と地球の健康寿命の延伸」の実現を目指します。

マツ六株式会社は創業以来、企業理念である「協調互敬」のもと「建築金物で人々の暮らしに貢献すること」をミッションに、社会価値の創造や社会に貢献し、住宅環境整備の一助となることで企業の成長を続けてまいりました。

当社は、2023年4月にサステナブル推進プロジェクトを立ち上げ、SBT認証の取得や商品開発におけるGXの推進などのサステナビリティ目標を定め、サステナビリティ経営への取り組みをスタートいたしました。サステナビリティ目標の達成に向けて、社会的課題を解決するための、社員のウェルビーイング推進とすべてのステークホルダーとの対話によるサービスと商品の価値創造を推進してまいります。

当社は、これらのことに積極的に取り組むことで持続的成長を実現してまいります。

詳細はこちらをご覧ください。 <https://www.mazroc.co.jp/sustainability/>



専門家コラム 感想募集中!

2014年4月に理学療法士・作業療法士の先生方によるコラムの連載がスタートして早10年。ただいま読者様からのご意見やご感想をお寄せいただけるフォームを開設しています。ぜひ、皆様のお声をお聞かせください。

ご執筆いただいている先生は
こちらのお二人です



Sport(エスポート)
CBRディレクター
理学療法士
和田 圭市 先生



社会・生活環境研究所
作業療法士
二級建築士
山田 隆人 先生



オリジナルトートバッグをプレゼント!

あすにゃんの
リフレクターチャーム付き

ご協力いただいた方の中から毎月抽選で5名様にプレゼントをご用意しています。詳細はこちらをご覧ください。

<https://event.mazroc.com/column-goiken>





転倒を防ぐための対策を行う時期

転倒予防の対策として、生活機能が低下する以前に手すりなどを設置するとそれらに依存し、生活機能が低下すると言われていました。しかし、認知機能が低下する前に居住環境の調整を行うことで、継続して生活ができるなどの知見があります。先を見据えて転倒予防の対策を行う必要があると思います。それでは転倒予防の対策を講じる時期はいつ頃が良いのでしょうか。

転倒予防セルフケア行動を調査した研究において、転倒予防セルフケア行動と健康管理自己効力感には握力(図1)が影響を与えているとしています。健康管理自己効力感が高い高齢者は、握力低下などの身体機能の低下を実感し、先を見据えた転倒予防の対策として身体機能を向上させる行動をとっているとしています。

握力低下と下肢筋力は関連が強いとされています。生活習慣病患者を対象とし、筋力を調査した研究において、膝伸展筋力は70～79歳の約3割、80歳以上の約8割に低下が認められ、下肢筋力は握力・開眼片脚立ち時間・10m最大歩行速度等との関連があるとしています。また、筋力低下と糖尿病に有意な関連を認め、転倒の危険度が高い程、膝伸展筋力は低下する傾向を認めたとしています。

また、立ち上がり動作と下肢筋力の関係を確認した実験では、40cm、



図1) 握力の計測

30cm、20cm、10cmの高さの座面からの片脚、両脚の立ち上がりに要する体重と膝伸展筋力の比率である『体重支持指数』を確認しています。基本的社会生活を送るためには、膝伸展の体重支持指数は60%が必要となり、40cm座面からの片脚の立ち上がり(図2)の際には62.3±14.3%を要するとしています。40cmの座面からの片脚立ちの可否で生活行為への支援の必要性が確認できるとしています。

このことから、握力が低下した・握力の低下を自覚した状況、もしくは、40cmの座面から片脚で立ち上がりに困難を感じた状況が、転倒を予防する手すりの取り付け等を検討するタイミングです。生活習慣病の診断を受けている方は、これらの指標を普段から確認し、転倒の予防支援を行う時期を検討しておく必要があると思います。

参考文献

- 1) 内山昌代、鈴木みずえ、金盛琢也: 地域在住高齢者の転倒予防セルフケア行動の実態・因子構造・関連要因、日本転倒予防学会誌、10(1)、2024
- 2) 安延由紀子: 生活習慣病を有する高齢者を対象とした筋力低下の実態調査、理学療法学Supplement、41 Suppl(2)、2014
- 3) 村永信吾: 立ち上がり動作を用いた下肢筋力評価とその臨床応用、昭和医学会雑誌、61(3)、362-367、2001



図2) 座面40cmからの片脚での立ち上がり

建築から見る

デザイン紀行 2

～過去から現在そして未来へ～

Salone del mobile 2024 -part1-

(イタリア・ミラノ)



ミラノサローネでも自然のあたたかみを感じる展示が多々見受けられました。

トレンドは、自然素材を由来とした木質系のページュが中心となったアースカラー。素材も木が多い印象。

世界三大家具見本市の中でも最大規模を誇る、ミラノサローネ2024を訪問してきました。その記録をテーマ別に本コラムで紹介していきます。今回のテーマは、世界のインテリアトレンド。



数年前から注目されている『ジャパネディ』を意識した展示。ジャパネディとは、和風(Japanese)と、北欧風(Scandinavian)を融合させた造語で、日本の禅や侘び寂びの簡素さと、北欧のミニマリズムを融合させたインテリアスタイルです。

日本は古来から自然素材を使い、その土地土地の風土に合わせて家を作ってきました。環境配慮が課題となる中、日本の伝統的な文化や慣習に世界中の注目が集まっています。これから日本はエコロジーの分野で先進国になっていくことが未来への鍵だと感じました。



最近では地球環境問題の影響も受け、より自然派なインテリアが目立っています。

未来を変える一歩を
いっしょに。

たよレールシリーズ

MOTOE
モトエプロジェクト地球に優しい福祉用具の
サーキュラーエコノミー。福祉住環境
コーディネーター 道

の答え: ③家賃債務保証

マツ六公式SNS
更新中!Instagram ▶ @mazrocofficial
X ▶ @mazrocofficial1Facebook ▶ facebook.com/mazroc/
YouTube ▶ @mazrocsho

発行元: マツ六株式会社

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL 06-6774-2255 (代表) FAX 06-6774-2248

https://www.mazroc.co.jp/

MAZROC 2407-1

